

4 平成 26 年産入札取引に係る平成 27 年度協会業務・財務資料

(大豆入札取引業務関係部分抜粋)

平成 27 年 3 月 6 日に開催した平成 26 年度第 2 回理事会において、平成 27 年度（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）事業計画及び収支予算案を議決した。そのうち、大豆入札取引業務関係部分は、以下のとおりである。

平成 27 年度事業計画

第 1 事業計画

(前略)

また、国民の食生活に不可欠な食料である国産大豆については、現在の食品用としての需要量に対する生産量が約 20%と安定供給には程遠い水準であるため食品業界・消費者等のニーズに対応した良質な国産大豆の供給の拡大が急務となっている。

このような状況の中、平成 27 年度は、(中略) ②国産大豆の需要の拡大を図るための価格形成視施設の開設・運営及び情報の収集・提供のための事業を公益目的事業と位置付け事業を実施する。

具体的には、(中略) 国産大豆については、入札取引の透明化・適正化の観点から中立的な第三者機関として当協会が入札の取引の実施主体となって市場を開設・運営し入札結果の迅速な公表を行うこと等を行う。

第 2 会議等の開催

(前略)

6 大豆入札取引委員会

7 取引監視委員会

(後略)

第 3 (略)

第 4 国産大豆の需要の拡大を図るための価格形成施設の開設・運営及び情報の収集・提供事業

(1) 大豆価格形成安定化事業

国産大豆の入札取引の実施主体として市場を開設し、入札取引の透明化・適正化を図るため、次の事業を実施する。

- ① 大豆入札取引委員会の開催
- ② 取引監視委員会の開催
- ③ 入札の実施
- ④ 入札結果の公表

- ⑤ 指標価格の作成・提供
 - ⑥ 入札取引を円滑に実施するための情報の提供
- (後略)

大豆価格形成安定化事業収支予算書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1 収入 (単位：円)

科目	27年度予算額	26年度予算額	増減	備考
大豆価格形成安定化事業補助金	25,718,000	25,718,000	0	
大豆価格形成安定化事業運営拠出金収入	8,450,000	8,450,000	0	
当期収入合計 (A)	34,168,000	34,168,000	0	

2 支出 (単位：円)

科目	27年度予算額	26年度予算額	比較増△減	備考
入札業務等に要する手当	9,300,000	9,300,000	0	入札業務等に要する経費
給与手当	8,000,000	8,000,000	0	
社会保険料	1,300,000	1,300,000	0	
管理運営等に要する経費	24,868,000	24,868,000	0	システム運営等 管理運営に要する経費
事業費	19,621,000	19,776,680	△ 155,680	
会議費	70,000	70,000	0	
通信運搬費	500,000	500,000	0	
借上費	9,000,000	9,000,000	0	
システム導入費	3,540,000	4,033,760	△ 493,760	
システム改良費	1,651,000	1,368,720	282,280	
システム運営費	4,266,000	4,210,000	56,000	
光熱水料費	100,000	100,000	0	
印刷製本費	400,000	400,000	0	
消耗品費	94,000	94,200	△ 200	
旅費	550,000	569,720	△ 19,720	
謝金	940,000	940,000	0	
賃金	2,226,000	2,226,000	0	
役務費	600,000	460,000	140,000	
雑役務費	931,000	895,600	35,400	
当期支出合計 (B)	34,168,000	34,168,000	0	
当期収支差額 (A) - (B)	0	0	0	